

|           |  |          |          |  |
|-----------|--|----------|----------|--|
| 情報社会と情報倫理 |  | 講義       | 教授 樽井 勇之 |  |
| 科目カテゴリー   | 会計ファイナンスコースの<br>専門選択科目、経営・経済<br>コースの選択必修科目 | 科目ナンバリング | 23021201 |  |

### 1. 授業のねらい・概要

ネットワーク社会では、誰でも手軽にインターネットを利用して情報発信できるようになっている。このとき問題となるのはインターネット上における情報倫理である。インターネットを活用するには情報倫理を遵守すると共に、他人の権利や著作権問題の理解をしておかなければならない。

本授業では、ネットワーク社会と情報について基礎から学び、コンピュータの仕組みと特徴を理解する。その上で、インターネットの仕組みと情報セキュリティ対策、インターネット利用時の情報倫理、個人情報漏洩の問題、電子メールの仕組みと情報倫理、Webページの作成と情報倫理について学修する。

### 2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に小テストを行う。

### 3. 授業計画

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ガイダンス        | 9. ネットワーク上での作法            |
| 2. コンピュータの歴史    | 10. 知的財産権・著作権             |
| 3. ビットとは何か      | 11. 個人情報保護法               |
| 4. コンピュータで扱う情報  | 12. 情報セキュリティに対する脅威への傾向と対策 |
| 5. 量の扱い         | 13. 電子メールの仕組みと情報倫理        |
| 6. コンピュータの構成と特徴 | 14. Webページの作成と情報倫理        |
| 7. インターネットの仕組み  | 15. まとめ                   |
| 8. 情報セキュリティ対策   |                           |

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回授業の講義内容や、小レポートとして出題された内容の復習に1時間程度必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題を出題後にヒントを与え、次回授業時に解答のポイントを説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

情報技術および情報倫理を理解し、情報社会におけるコンピュータ利用が円滑かつ適正に行えることを目的とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

小テスト（50%）、期末試験の結果（50%）によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

小島正美他：「情報社会のデジタルメディアとリテラシー ―情報倫理を学ぶ―」、ムイスリ出版

### 9. 受講上の留意事項

講義と同時に小テストを行うので、欠席しないこと。また、講義の内容を理解するためにノートをきちんととること。理解できないときは積極的に質問してください。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。